

改修前トイレ



改修前の大便器ブースは、スペースも狭く介助がしにくかった。

トイレ 全体



男女別のトイレを男女兼用トイレに変更し、ゆとりあるスペースを確保。床材は転倒してもケガをしないように、柔らかいウレタン素材を採用している。

汚物流しコーナー



スタッフ用手洗器と汚物流しを設置。主に同伴の保護者が、トイレサポートをした後に使用している。

シャワーコーナー



粗相をしてしまった場合などに備えて、幼児用シャワーパンを設置している。

洗面コーナー



肢体に障がいのある園児が、後ろから身体を支えてもらいながら手洗いできるように洗面器の前に手すりを設置。洗面器は園児たちが使いやすい高さを選べるように、500mm・600mmの高さ違いで設置。

小便器コーナー



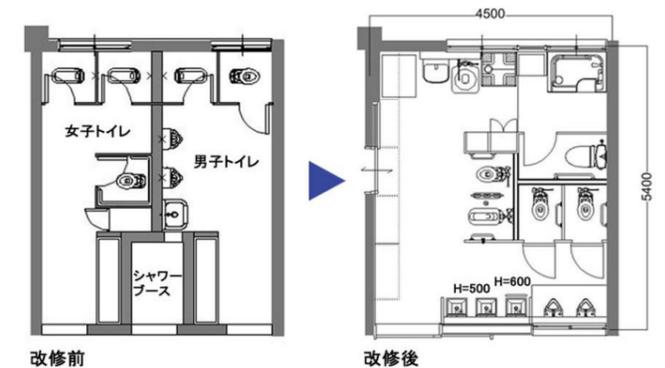
小便器も園児の体格にあわせて選べるよう、240mm・300mmの高さ違いで設置している。小便器の足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロテクトタイルを採用。

保護者・職員用トイレ



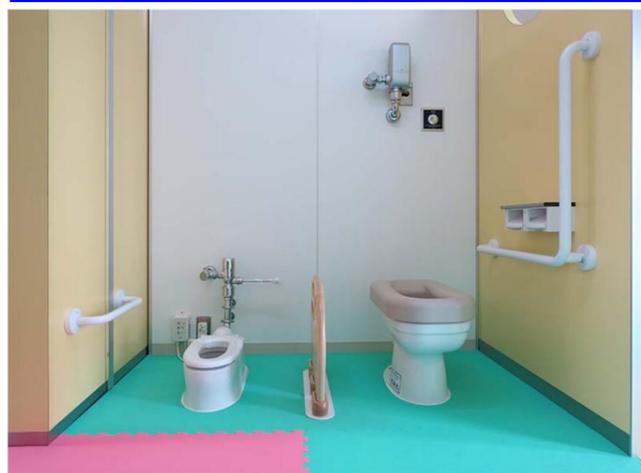
ウォシュレットのリモコンは、操作しやすい大きなボタンのリモコンを採用。便器洗浄もボタンを軽く押すだけでできる。

トイレ図面



改修前は男女別のトイレだったが、間仕切りを撤去し、男女兼用トイレに改修した。

大便器コーナー



大便器も高さ違いで設置。1-2歳児向けの幼児用大便器(左側)と、介護者に後ろから身体を抱えてもらって使用するバリアフリー便器(右側)を設置している。

大便器ブース



3-5歳児向けの幼児用大便器を設置した大便器ブース。冬場も快適に使えるように暖房便座を設置している。

建築概要

名称	どんぐり学園(母子通園施設)
所在地	豊明市西川町長田16-8
施主	豊明市
設計	黒野建築設計事務所
施工	株式会社都市建設
竣工年月	(改修) 2013年3月

水まわりの特長

<施設の特長>
 どんぐり学園は、さまざまな発達の遅れのある子どもたちが、保護者と一緒に「楽しく遊びながら健康で豊かに成長してほしい」という思いで作られた母子通園施設。保護者とスタッフが子育てのあり方を一緒に考え、園児一人ひとりの成長にあわせて、基本的な生活習慣や社会性が身に付くように、お互いが援助しながら生活を送っている。
 今回、建物の耐震化工事にあわせてトイレの改修を行った。

<トイレの特長>
 男女別だったトイレを男女兼用のトイレに変更し、保護者やスタッフがトイレ動作をサポートしやすい空間を確保した。
 多様な園児を受け入れることができるように、さまざまなタイプの大便器を採用。さらに、大便器・小便器・洗面器を高さ違いで取り付け、園児の体格にあわせて使用できるようにしている。また、介護者がサポートしやすいように、洗面器の前に手すりを設置したり、オープンタイプの大便器コーナーを設けている。床は転倒してもケガをしないように、柔らかいウレタン素材の床材を敷き詰めている。